

# ロヒンギャのため祈る30日

WWW.PRAY4ROHINGYA.ORG

ミャンマーにおけるロヒンギャ人への迫害は何十年も続き、結果として人口の大半が国内または外国へと離散していきました。強制的に移動した先での生活が困難でないはずがありません。故郷から遠く離れていても、ロヒンギャは神様の御心のそばに近く覚えられています。イスラム教徒の聖なる断食月ラマダンにあわせて私たちも祈りましょう。離散していったロヒンギャたちが現在どの土地に住んでいようと、神様がその場で彼らに出会ってくださいますように。

世界中でいま新型コロナウイルスの脅威により家から出られず過ごしている方が多いと思います。この時間をぜひ祈るために使いませんか、家もなく行くあてもないロヒンギャがウイルス感染によって受ける影響は甚大です。彼らが父なる神様の心に近く抱かれ、そこを故郷とし平安を見出すように祈りましょう。

## ミャンマー



別名アラカンとも呼ばれる現在のラカイン州がロヒンギャ人の故郷です。美しい豊穡の地で何世代もの間ロヒンギャは自由に行き来し平和に暮らしてきました。彼らの紡ぎ出す美しい手工芸品、伝統音楽、香辛料をベースにした食文化は香り高く魅力的です。しかし彼らの生活の跡は破壊され住んでいた村は残っていません。隔離政策によって区分された

土地に押し込められて出入りを厳しく管理されるようになってしまいました。

### 1日目 4月24日

ロヒンギャ人は自由な移動ができないよう制限されています。病気や怪我の際に必要な医療にアクセスできず命を落とす人が大勢います。学校や仕事に行くのにも行動制限があり、毎日の生活のやりくりも苦しく、将来に備える教育も続けられません。神様がミャンマー政府の心に働きかけてくださり、病院・学校・仕事に行くといった生活の行き来が自由にできる許可がロヒンギャにおりるように祈ってください。

### 2日目 4月25日

まだロヒンギャの多くがラカイン州に住んでいた頃でも一部の人は就職や勉強のチャンスを探しにヤンゴンなどの大都市に出て行って生活していました。しかしそこでの生活も少数派として見下され困難なものに変わりありません。地元のキリスト者たちがロヒンギャと知り合いになることやコミュニティを訪問することは自由なのですが、恐れや誤解が先立ち行動を妨げています。神様がミャンマー内外のご自身の教会を引き上げてロヒンギャ人のコミュニティに届いていかれますように。キリストの愛に倣って教会が立ち上がりロヒンギャに恵みを示しますように。

### 3日目 4月26日

現在国際司法法廷において、ロヒンギャ民族をミャンマーが国としてどう扱ったのかについての審理が進んでいて国際社会も関心を寄せています。判決までのプロセスに神様の御手が置かれますように。正しい判断があり、ロヒンギャの苦境に対し現実味のある解決策が編み出されるきっかけとなりますようにお祈りください。

### 4日目 4月27日

ラカイン州北部のロヒンギャコミュニティは道がとても悪くて訪問するのが困難な場所にあります。しかし短波ラジオで福音を届ける道が開かれました。彼らが興味を持ちそうな話題を中心に、健康のこと、争いと和解などのトピックについて福音的なプログラムが組まれ、聴いた人が神様の愛と平和について心を向けるようになることを願っています。

## 5日目 4月28日

ここ2年間ほどのラカイン州の現状は、現地の仏教徒ラカイン人のアラカン軍とミャンマー政府軍との戦争が続いています。紛争地帯に住む何千人もが移住を余儀なくされ、子供を含む多くのロヒンギャ人も地雷や空爆で亡くなりました。紛争地に住む無実の人達に神様の護りがあるように祈ってください。

この何十年間ロヒンギャへの迫害の波はずっと続いていましたが、特に2017年には過去最悪の90万人以上が難民化し陸路でバングラデシュへと逃げこむ事態となりました。



# バングラデシュ



バングラデシュ南東部には1970年代からロヒンギャ人が住むようになった難民キャンプがあります。2017年にさらに大勢の新しい難民が到着してから世界最大の難民キャンプと呼ばれるようになってしまいました。そこでの生活は厳しいものです。

## 6日目 4月29日

すでに負いきれないほどの苦しみを背負って逃げてきたロヒンギャ。その彼らをさらに苦しめるかのように現在難民キャンプの周りにはフェンスが建設中です。インターネットや電話の通信が止められることで新たな精神的拘束にもなっています。キャンプ内はフラストレーションと不安が広がっています。ロヒンギャが地元や世界と正常な関係を維持する方法が与えられるよう祈ってください。

## 7日目 4月30日

難民キャンプでの抑圧された生活に失望して外国に行けば仕事や結婚ができるだろうと夢見て出ていく若い未婚の女性たちが増えています。渡航仲介業者には人身売買目的の者たちもいて非常に危険です。どうぞこの大切なロヒンギャ女性たちが神様の御手によって護られますように祈ってください。真の愛は神様から来ることを知る女性たちが起こされますように。

## 8日目 5月1日

私たちの働き人がロヒンギャ人の難民キャンプに入っていくことが徐々に難しくなっています。医療サービス、生活支援、現地語の語学学校などを提供している彼らの姿を通して福音がロヒンギャに届きますように。ロヒンギャの間に神の国を建設しようとする真実な奉仕が継続できるよう、道が開かれ続けますように祈ってください。

## 9日目 5月2日

難民キャンプ内のロヒンギャの子供たちへの公的教育が禁止されて2年になります。実際はこの禁止令の通りにはならず、ミャンマー語のカリキュラムで学ぶチャンスが残されていることを感謝します。質の良い教育が難民キャンプでも行われて子供たちの人生を豊かに育みますように。

## 10日目 5月3日

ロヒンギャの家庭では残念なことに家庭内暴力が大きな問題です。女性たちは自分の家の中でもおびえて暮らしている状態です。ミャンマー国内にいた時よりも難民キャンプはもっと危険だと感じている人も少なくありません。ロヒンギャの女性たちが危険から守られるように。また慰め主である聖霊が彼女らのそばにいてくださるよう。外出さえ禁止されているような場合でも、女性たちがなんとか福音を聴く機会がありますように。



難民キャンプから出て将来を開拓しようと別の国に向かうロヒンギャも大勢います。中には人身売買によって外国に連れていかれる人もいます。現在かなり大きなロヒンギャのコミュニティがある国は、パキスタン、サウジアラビア、インドなどです。



## パキスタン、サウジアラビア、インド



パキスタンとサウジアラビアには何十年も前からロヒンギャ達が住んでいました。最近ではインドに移住する人口も増えています。祖国での迫害のことを考えて、きっとイスラム教徒の多い国なら良い生活ができるだろうと期待し、偽造パスポートを作って入国していきます。あまり知られていませんが、これらの国に住むロヒンギャ達もまた苦しい環境に置かれており、祈りを必要としています。

### 11日目 5月4日

パキスタン入国の際、正式な手続き書類を持参しなかったからということを利用してロヒンギャは教育・仕事・医療支援を制限されています。パキスタン政府がロヒンギャに対して恵み深い態度で接するよう祈ってください。そもそも故郷の国からIDやパスポートなどを持参できなかった人達です。パキスタンで基本的な生活を送っていく道が与えられるように祈ってください。

### 12日目 5月5日

パキスタンのカラチ市にあるアラカン・アバド・スラムは故郷のラカイン州にちなんで名づけられ推定10万人のロヒンギャが生活しています。パキスタンのキリスト者たちに主が語り、この地域を訪問して愛の行動を示す兄弟姉妹が起きるよう祈ってください。

### 13日目 5月6日

バングラデシュ国籍のパスポートを偽造してサウジアラビアに入国した4万人のロヒンギャ人について、バングラデシュ政府が引き取るべきだとサウジアラビア政府が圧力をかけています。入国管理局の収容所に何年も収容されている人たちもいて将来に希望を見出せません。神様がこの状況に介入してくださり、ロヒンギャに対し正しい扱いがなされますように。神様がロヒンギャの心に平安を与えてくださるように。

### 14日目 5月7日

サウジアラビアに住むロヒンギャがキリスト者に出会うチャンスはほぼありませんでした。しかし神様が夢や幻や奇跡を通して、ロヒンギャに出会ってくださると信じ祈りましょう。何かクリエイティブな形でこの人たちに福音が伝えられる方法はないでしょうか。

### 15日目 5月8日

最近インドでは戸籍法が改正されてロヒンギャはより不利な立場に立たされています。この法によってロヒンギャを雇用することを恐れるインド人も増えています。ジャンムー市などではこの法律を理由に地元政府がロヒンギャ追放に乗り出してきています。不安な中にいるロヒンギャのため、神様の護りと介入を祈ってください。悪霊の力が大きく見えるなかで、まことの神様の正義がなされますように。インドにある主の教会がロヒンギャのため立ち上がり彼らの隣人となるように祈りましょう。



# マレーシア



マレーシアへのロヒンギャ達の旅、それは私たちの想像を超える苦しみを意味します。希望をもちボートに乗り込んでもマレーシアに漂着した頃には熱い太陽に焼かれて服はぼろぼろで食べるものはありません。陸路でマレーシアを目指した人の多くは人身売買の網にかかり動物以下の扱いをされたうえ、身代金を払うまでジャングルの収容所から出してもらえないのです。ロヒンギャの希望への旅路にはあまりにもしばしば絶望が立ちふさがります。

## 16日目 5月9日

マレーシアで非合法的な存在である難民のロヒンギャを利用して、取れるだけの利益を吸い取ろうとする雇い主は少なくありません。何か月も無給料で使われているケースもしばしばです。マレーシアの雇用者がロヒンギャを正しく扱い、愛と恵み深い態度をもって彼らの暮らしの生活を満たす助けができるように祈ってください。

## DAY 17 5月10日

マレーシアの教会のなかには、国内に身を寄せているロヒンギャに心をとめてその生活と魂のためキリストの愛をもって何かできないかと考え始めている兄弟姉妹がいます。教育、雇用、その他の生活支援の分野において、これらのマレーシア人クリスチャンが多いに用いられキリストの愛を示すことができるよう祈りましょう。

## 18日目 5月11日

ずいぶん前から出稼ぎ労働者としてマレーシアに送られてきたロヒンギャの独身男性たちがいます。今彼らとの結婚を目的にロヒンギャの女性たちがマレーシアに送られてきていると聞きます。残してきた家族も彼女たちも不安な中にいると思います。どうぞ夫となる人が愛のある態度で彼女に接しますように。その女性があらゆる危険から守られますように。そしてこの女性たちがマレーシアでキリストの愛について聴く機会がありますように。

## 19日目 5月12日

とても感謝なことがあります。神様はマレーシアに住むロヒンギャの間で働いておられます。最近男性たちのグループで「ジーザス」（キリストの生涯の映画）をロヒンギャ語で上映しました。モハンマドという男性がたくさんの質問をし、キリストの生涯に興味を示しています。どうぞ神様をご自身のタイミングで彼らを引き寄せ、ご自分への信仰をもつに至らせてくださいますように。

## 20日目 5月13日

ロヒンギャにとって家族と一緒に住むことはとても重要なことです。マレーシアにやっても残してきた家族を思い出し寂しい思いをしています。彼らの心にキリストが出会ってくださるよう。キリスト者の兄弟姉妹が彼らにとって新しい神の家族となることができるよう。

マレーシアを足がかりにして米国、オーストラリアやヨーロッパといった国へ難民申請をして落ち着きたいと願っている人がたくさんいます。この長い不確かな申請過程には時間がかかり、その間に子供たちが生まれマレーシアで育っていています。





# 米国



米国などの欧米諸国を地上の楽園かのように夢見ているロヒンギャは大勢います。ところが到着後すぐに現実に向き合わされます。家賃の安い地域では治安も悪いですし、英語を話せないので仕事のチャンスもありません。買い物、就職活動、電車の乗り降りといったことにも慣れるのが本当に難しいのです。また残念なことに立場の弱い難民をまきこむ犯罪もたくさん起こっています。

## 21日目 5月14日

米国の諸教会が、ロヒンギャの存在に気づくことができるよう祈ってください。キリスト者たちが近所に住むロヒンギャと友人になりたいと願い、大胆に良い関係を築くことができますように。そのようにしてキリストの愛を示すことができますように。

## 22日目 5月15日

難民として外国への移住していったロヒンギャと、後に残り心配している家族のためお祈りください。心に平安があたえられ、神様が見ていてくださり彼らと家族を心配しておられることがわかるようにと祈りましょう。

## 23日目 5月16日

米国で難民として落ち着くことになったロヒンギャが英語や生活の仕方など学ばなくてはならないことにしっかり取り組めるよう祈ってください。スーパーで買い物をしたり、病院にいたり、税金を払ったりといった社会の責任も含めて新しく覚えることに圧倒されず、くじけずに取り組めるように。

## 24日目 5月17日

長時間労働で低賃金の仕事をしているロヒンギャ人が多いですが、子供たちが米国で教育を受けるためなら今の苦労も価値があると思って努力しています。子供たちが学校で良い友人に恵まれますように。地元の子供たちのなかでイエス様を知っている子たちが、彼らを守り助ける役割をもてますように。

## 25日目 5月18日

ロヒンギャのための祈禱会が米国各地で始まっていることを主に感謝します。さらに多くのキリスト者たちがロヒンギャ人たちに関心を持ち、祈りにおいて彼らを主の御もとに運ぶ役割をすることができますように、共にお祈りください。

# 神の御国



この世界で流浪の旅を続けるロヒンギャ達は、故郷にあこがれています。本当の意味で安全で平和で恐怖を持たずに暮らすことのできる我が家。愛され、受け入れられ、価値ある者と呼ばれる場所。この地球上には本当の故郷がないということ痛いほど突きつけられているのがロヒンギャという人たちです。キリストはロヒンギャとともに私たちすべてを御国の民として招いておられます。その招

きに応じて神の国の子供となる決心をするロヒンギャ達が起こされていることを主に感謝します！

## 26日目 5月19日; 顕現の夜

今晚は『顕現の夜』とよばれ1年で最も聖なる時と考えられています。イスラム教徒は今晚の祈りにはアラーが特に答えてくれると信じて徹夜で祈ります。ロヒンギャ達ができるように祈る時、真の造り主なる方が彼らに触れ、霊的覚醒を経験するよう祈りましょう。

## 27日目 5月20日

ロヒンギヤのキリスト者たちはいま新たな迫害に直面しています。彼らの信仰が成熟しキリストの平安を心に握って堅く立つことができるようにお祈りください。聖霊に満たされて試練を乗り越えるように、そして彼らの人生に働かれるキリストの力強い証し人となることができるように。

## 28日目 5月21日

サタンはあらゆる方法を使って福音を妨げようとします。ロヒンギヤのキリスト者の間でも不和や分裂といった問題が起きています。聖霊に導かれた謙虚なリーダーが育ち、一致と和解がロヒンギヤの間でなされますように。それによって他のロヒンギヤ達にも、福音の力と美しさが明らかになるように。

## 29日目 5月22日

聖書をロヒンギヤ語に翻訳するためのチームが結成され、誠実な働きが進められています。この働き人たちのうえ神様の知恵と守りがあつく置かれますように。この働きによってロヒンギヤのキリスト者たちが更に御言葉によって弟子訓練されて、隣人であるイスラム教徒のロヒンギヤたちへの良き証人となっていきます。

## 30日目 5月23日

あなたが世界のどこの国に住んでいても、ロヒンギヤに出会う可能性はあります。あなた自身が出かけて行ってロヒンギヤと友人になるべきだと主がお語りになっていないか、祈ってみてください。彼らの間で主の名が知られるためにあなた自身はどのように関わったらいいか主と相談しましょう。



## ロヒンギヤのため祈る30日

『あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。』第一ペテロ2：10

このみことばどおり  
ロヒンギヤにも  
成りますように。  
アーメン

[WWW.PRAY4ROHINGYA.ORG](http://WWW.PRAY4ROHINGYA.ORG)